



# 8月のほけんだより



令和2年  
8月1日発行  
両国・なかよし保育園  
看護師

梅雨があけ、猛暑日も増えてくると思います。外出などの際は特に熱中症にならないように注意し、楽しい夏の思い出を作りましょう。

## 8月の保健行事

\* 幼児内科健診（すみれ・ゆり・ひまわり組）  
8月13日 10時～  
0歳児健診も一緒に行います。

## 7月の感染症

溶連菌

1名

## 夏の感染症



水遊び等で楽しい夏です、体力の消耗しやすい時期でもあります。夏にどんな感染症が流行するかを知り、十分に気をつけていきましょう。



### ヘルパンギーナ

<症状>

高熱、咽頭痛が特徴。喉に水疱や潰瘍ができて痛みがひどく、乳児の場合はミルクが飲めなくなる場合もあります。

<対応>

咽頭痛は熱がさがってからでも続くことがあります。解熱後1日以上経過し、普段の食事ができれば登園可能です。

### 咽頭結膜熱(フェール熱)

<症状>

39℃以上の発熱と咽頭痛があり、目のかゆみ・痛み・充血・涙目等結膜炎のような症状がでるのが特徴です。

<対応>

自宅で安静に過ごしましょう。解熱し、主要症状が無くなってから2日以上経過したら登園可能です。

### 手足口病

<症状>

手のひらや足の裏、口の中に小さな水疱や発疹ができ、熱がでることもあります。

<対応>

解熱後1日以上経過し、普段の食事がとれれば登園可能です。

## 帽子をかぶいましょう

1年のうちで、5月～9月は紫外線の多い時期です。外に出るときは帽子をかぶるようにしましょう。帽子はつばが広く、通気性のよい素材のものがおすすめです。



蚊に刺される子どもがだんだん増えてきました。デング熱に感染した蚊に刺されることでデング熱等を発症する恐れがあります。虫よけ対策として園では、室内で虫除け剤を使用しています。またご家庭でも、登園前に虫除けスプレー等の虫除け対策をお願い致します。虫よけシールは誤飲の恐れがあるため、貼付はご遠慮下さい。